



インフィニオンの カーボンニュートラルへの道のり

気候変動はグローバルな試練

気候変動は地域の生態系を脅かし、生態系の一員である人類にとっても大きな課題となっています。この気候変動を克服できるか否かは、ひとえに私たちの一人一人が立場を超えて協力し、果敢に行動できるかにかかっています。国家、企業、消費者の意思決定はますます複雑になり、社会、生態系、経済など様々な要素を考慮に入れることが求められるようになっていきます。気候変動に向き合う上では、包括的かつ持続的な取り組みが不可欠となります。

インフィニオンの半導体ソリューションは、持続可能な未来と無駄のないエネルギー利用をサポート

持続可能な未来の実現、そして気候変動に伴う課題の解決のために鍵となるのが、より効率的な資源利用と排出抑制に関する新技術です。この「より多くのことを、より少ないもので」というアプローチを、インフィニオンはまさに実践しています。

インフィニオンの半導体は、電動モビリティ、再生可能エネルギーをはじめとする様々なアプリケーションにおいて、エネルギー利用効率を高める上で欠かせない役割を果たしています。インフィニオンの半導体は、環境に優しい次世代の交通インフラの実現、電気エネルギー伝達・変換のより一層の効率化等もサポートします。

またインフィニオンは半導体製品の製造においても、持続可能性の向上と排出抑制に真剣に取り組んでいます。

1平方センチメートルのウエハ処理のためにインフィニオンが消費する水の量はWorld Semiconductor Council 参画の半導体企業のグローバル平均と比較して32%少なく、同様に電力に関しては52%、廃棄物に関しては65%少なくなっています。

インフィニオンは今後も、CO₂削減に関する強いコミットメントを掲げ、エネルギーの効率化・省資源化に貢献する半導体製品を提供することで世界の持続可能な発展をサポートしていきます。当社は、企業として社会的責任を果たし、デジタル革命の一翼を担います。

インフィニオンは2030年までに
カーボンニュートラルを実現

インフィニオンは、現在でも気候変動の課題解決に向け重要な貢献を果たしています。しかし、やるべきことはまだ多く残されています。2020年、インフィニオンは2030年までにカーボンニュートラルを実現という意欲的な削減目標を掲げました。この目標は、インフィニオン自身の温室効果ガスの排出に関して適用され、直接的排出の他に、電力消費や温熱等による間接的排出をも含めて設定されています。2025年までには、以下の施策により、2019年比で70%の排出削減を実現することを見込んでいます。

- ▶ 排気浄化による温室効果ガス削減のための自主的な対策の継続的な実施および改善
- ▶ 製造現場でのエネルギー効率の継続的改善および最新プロセステクノロジーへの順次移行
- ▶ 中期的に、認証済みグリーン電力への100%切り替え
- ▶ 当社敷地での充電インフラ整備による電気自動車の促進
- ▶ 環境的・社会的利益をもたらすプロジェクトをサポートする高い品質基準を備えたCO₂排出権の取得
(不可避の排出分に対応)



インフィニオンは環境面での高い付加価値を創出

半導体は、現在および将来のテクノロジーにとって不可欠な構成要素です。そして、電動モビリティ、再生可能エネルギー、FA、スマートシティ・スマートホーム構想等、様々なアプリケーションの基礎となります。インフィニオンの半導体製品と半導体ソリューションは、エネルギーのスマートで効率的な利用を可能にし、人間社会と環境との関わり方の改善に大きな貢献を果たします。

電動モビリティ：パワーモジュールによる電気自動車の航続距離向上

インフィニオンが供給するHybridPACK™シリーズのパワーモジュールは、電気自動車のバッテリーシステムとドライブトレインをつなぐ重要な役割を果たしています。バッテリーからの直流電流を交流に変換しモーターを駆動するとともに、ブレーキをかけた際に発生する交流電流を直流に変換しバッテリーを回生充電します。このプロセスにおけるエネルギーロスを減らすことで、電気自動車の航続距離を伸ばし、バッテリー容量を小さくすることができます。

スマートシティ：センサーがもたらすスマートビルディングの効率化とインテリジェント化

スマートビルディングは、都市環境におけるエネルギーの効率的利用のもう一つの例です。最近の建物ではインフィニオンが展開するXENSIV™センサーポートフォリオにより、建物のエネルギー消費状況を正確に把握することができ、それにより消費エネルギーの削減が可能になります。レーダーなどの人感センサーは例えば、特定の場所に人がいるか否か、そして何人いるかを検知し、自動的に照明、換気、室温を調整することができます。インテリジェントなセンサーネットワーク構築と自動化により、エネルギー利用の効率化と快適性の向上を同時に実現させることができます。

持続可能かつ環境調和型の経済政策実現に向けた主な規制的措置例：

- › エネルギー効率化に貢献する製品の展開、および革新的なグリーンテクノロジー市場の開拓
- › 排出削減に向けた最も効率の高いソリューションを見出すための研究開発を促進
- › より厳正で一貫性のあるCO₂価格付けシステムの導入（自由な取引が可能な排出権など）
- › 環境調和型企業のグローバル競争力を保護するための、信頼のおける負担軽減制度、および安全な投資環境を整備
- › エネルギー効率向上の限界を打破に向けた、産業のデジタル化およびAI利活用の一層の促進



インフィニオンのサステナビリティコンセプトと弊社製品の環境へのメリットについては、こちらをご覧ください：www.infineon.com/cms/jp/about-infineon/sustainability